

現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市走島診療所待合室床改修工事

1 現場の状況

工事場所は、福山市走島町 112 番地 2 に位置し、福山市道走島幹線線に接しています。

工事期間中は、毎週木曜日のみの診療日になっています。なお、2026 年 1 月 8 日（木）は休診日です。

診療日以外に施設の使用はありません。

2 別途工事

ありません。

3 福山市週休 2 日適用工事について

対象外工事です。

4 留意事項

【共通事項】

- (1) 工事に当たっては、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事期間中も第三者への安全確保に必要な対策を講じてください。
- (3) 工事車両等の進入・退出・停車等に当たっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
- (4) 資材の搬入、搬出時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないよう注意してください。
- (5) 道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路に係る維持管理（舗装・構造物等の保護養生、補修等）は、受注者で行ってください。
- (6) 工事場所外においても、駐車違反、速度制限、積載制限等交通法規を遵守し、事故防止に万全を期してください。
- (7) 工事に係る留意事項は、協力業者、資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (8) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
- (9) 実施工程表は、契約後 14 日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工関係書についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (10) 工により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (11) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (12) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理してください。

- (13) 工事施工に必要な官公署への手続は、受注者の責任において速やかに行い、手続を行った場合は、速やかに報告してください。
- (14) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。

【特記事項】

- (1) 診療日に工事を行うことはできません
- (2) 本工事場所の進入口及び通路は、施設使用に際し工事期間中も確保する必要があるため、各入口や通路の通行と安全の確保を行ってください。
- (3) 現場着手日及び工事関係車両の駐車場の計画は、あらかじめ施設管理者と協議の上、決定してください。
- (4) 工事期間中であっても、待合室及びホールが使用できるように必要な対策を講じてください。
- (5) 本工事は、待合室改修工事とホール改修工事で工程を分けて計画しています。工事については、ホール改修を先行して行い、ホール改修を終えた後は速やかに監督員立会いを行い診療所がホールを利用できるようにしてください。
また、ホールの改修工事完了後は速やかに待合室の改修工事に移行してください。
- (6) 現場の状況により、施工方法や内容に変更が生じる場合があります。

福山市走島診療所待合室床改修工事

福山市建設局建築部営繕課				発注 2025年 11月	
主務	課員	次長	課長補佐	常務課長	建築部長

		工事名称	福山市走島診療所待合室床改修工事	図面No
		設計	2025年 11月	A-00
			表紙	

福山市改修工事特記仕様書

I 工事概要

1. 工事名称

福山市走島診療所待合室床改修工事

2. 工事場所

福山市走島町112番地2

3. 用途地域

都市計画区域外

4. 防火地域

・防火地域

・準防火地域

○指定なし

5. 工事種別

・新築

・増築

○改修

6. 敷地面積

251.00㎡

7. 建物概要

1) 構造

木造2階建

2) 面積

建築面積 120.546㎡

延べ面積 221.174㎡

床面積

2階 : 103.788㎡

1階 : 117.386㎡

3) 付属施設

なし

8. 改修概要

・待合室床改修工事

・ホール床改修工事

9. 別途工事

・電気設備工事

・給排水衛生設備工事

・空調設備工事

・ガス設備工事

・昇降機設備工事

・カーテン取付工事

・植栽工事

○なし

※ 本工事の工期は設備工事の工期及び工事検査期間としての14日を含んでいる。

※ 契約締結後14日以内に実施工程表を提出する。

※ 本工事は、法定外の労災保険を見込んでいる。

II 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「建築標準仕様書」という。）による。ただし、アスベスト成形板の処理等は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「建築改修標準仕様書」という。）による。

電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれ公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）による。

(1) 官公署手続き

受注者は関係官公署への必要な手続きを代行する。（官公署手続きは監督員の承諾後とする。）

(2) 地元企業及び地場製品の活用

受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用に努める。

(3) 疑義に対する協議等

設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の納まり、取り合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。

2. 特記仕様

(1) 章、項目は番号に○印のついたものを適用する。

(2) 特記事項は○印のついたものを適用する。

○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。

○印と⊗印のついた場合は共に適用する。

(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、「建築標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 材料および製造所等の記載順序は不同である。

3. 引渡し後、次に示す点検を行う。（○印のついたものを適用する。）

・引渡し後点検（第1次点検） 引渡し後の概ね1年後

・引渡し後点検（第2次点検） 引渡し後の概ね2年後

章 項

特記事項

⑤ 施工管理 (1.3.1)

受注者は施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の施工管理を行う。
※ 施工体制台帳（建設業法等に従って作成し、写しを提出する。）
技術者台帳（施工体制台帳に添付）
監理技術者・主任技術者（下請を含む）及び専門技術者の写真、名前、生年月日、所属会社名を記載する。
※ 施工体系図（建設業法に基づき、当該現場の見やすい場所に掲示する。）

6 電気保安技術者 (1.3.3)

・適用する

・適用しない

7 施工条件 (1.3.5)

○作業時間は、原則午前8時から午後5時までとし、通学時間帯を考慮すること。

○日曜日及び祝日に作業を行わないこと。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りではない。

8 施工中の安全確保 (1.3.7)

・労働安全衛生法第30条第2項の規定に基づく指名

・有り

・無し

○工事中は、騒音、振動の発生、粉塵の飛散（散水）、道路の汚染等の防止に努めること。

※ 低騒音型・低振動型建設機械を使用すること（近隣住民の生活環境の保全の必要性がある場合）

・本工事は、交通誘導員として 人を見込んでいる。

交通誘導員の配置については、実施伝票（原本）および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い監督員に提出する。

9 発生材の処理 (1.3.12)

・引渡しを要するもの（ ）

・現場において再利用を図るもの（ ）

※ 再資源化を図るもの

・アスファルトコンクリート

・コンクリート

・木材

・コンクリート及び鉄かなる建設資材

※ 上記以外のものはすべて構外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下、「建設リサイクル法」という。）や、「資源の有効な利用の促進に関する法律」（以下、「資源有効利用促進法」という）、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下、「廃棄物処理法」という）その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適正にする。

※ 建設副産物情報交換システム（COBRIS）（財）日本建設情報総合センター

本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。

また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。なお、これにより難い場合は、監督員と協議する。

施工計画時	工事完了時
搬入 再生資源利用計画書	再生資源利用実施書
搬出 再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書

※ 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税される。

なお、本工事で広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。

10 建築材料等 (1.4.2)

建築材料の製造所、製品及び施工業者などは、特記されたもの又は同等のものとする。ただし、同等とする場合は、監督員の承諾を受ける。

また（社）公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出する。

国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号。「グリーン購入法」という。）により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。

材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。

工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとする。

本工事の施工に当たり、東洋ゴム化工品（株）又はニッタ化工品（株）で製造された製品や材料を用いる場合には、第三者機関による品質を証明する書類を提出すること。

11 特別な材料の工法

12 技能士 (1.7.2)

13 化学物質の濃度測定 (1.7.9)

受注者は、引渡し前に次の対象物質について室内空気中に含まれる濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告する。

対象物質

・4項目（ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン）

・5項目^{（注）}（ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン）

・6項目（ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン、パラジクロロベンゼン）

（注） 文部科学省の「学校環境衛生の基準」による。

測定方法

※ 計画書を提出し、監督員の承諾を受ける。

対象室名

測定箇所数

14 アスベスト含有成形板の処理等 (9.1.5)

処理を行うアスベスト含有成形板の仕様及び部位

アスベスト含有成形板の仕様	使用部位
・石綿スレート	
・石綿セメントけい酸カルシウム板	
・その他（ ）	

※ 事前に施工調査等により広く確認を行う。

安全衛生管理

※ 石綿作業主任者

石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令第21号。以下、「石綿則」という。）に基づき、石綿作業主任者を選定する。なお、石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。

・除去作業

アスベスト含有建材の除去に従事する作業者（以下「除去作業者」という。）は、石綿則に基づく特別の教育を受けた者とする。

・表示及び掲示

作業現場の見やすい場所に、石綿則第34条に基づく掲示をする。

除去作業者の呼吸用保護具・保護衣

・呼吸用保護具（国家検定合格品

・RL2又はRS2

・ ）

※ その他の仕様は建築改修標準仕様書による。（建築改修標準仕様書 9.1.5）

章 項

特記事項

⑬ 工事及び完成写真

分類	規格	撮影枚数	提出部数
着手前	Ｌ利程度（カラー）	必要に応じた数	1
工事中	Ｌ利程度（カラー）	必要に応じた数	1
完成時	Ｌ利程度（カラー）	各室4面	1
	２Ｌ利程度（カラー）	外景4面	

着手前・工事中写真 ※ A4利印刷、若しくはA4判写真帳

完成時写真 ※ アルバム（A4利程度）

写真帳（検査後14日以内に提出する。）

原稿の提出 ※ する（※完成時のみ

・全て）

・しない（電子データ形式等は、監督員の指示による。）

16 完成時の提出図書 (1.7.1～3)

速やかに次の図書を提出する。

※ 竣工図（※完成図

・承諾図

・施工図）

（1.7.1）

・A3判を2つ折りにして製本

部

部

部

・竣工図電子データ一式（竣工図電子データ作成要領による。）

・CADデータ（媒体（CD-R等）、データ形式等は監督員の指示による。）

（1.7.2）

（1.7.3）

保全に関する資料

17 保証書

次の工事について保証書を提出する

工事区分	材料名	保証年限	備考

⑭ 施工図及び施工計画書

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする

19 情報共有システム

本工事は、インターネットを利用して、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。

本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い、利用料を支払うものとする。

運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領（建築工事）及び「情報共有システム利用手引（建築工事）」によるものとする。

・発注者指定型

共通仮設費として除法共有システムの利用料を見込んでいる。

受注者は、本システムを利用できない特別の事由ある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができる。

・受注者希望型（契約時の請負金額が500万円以上のものに限る）

工事費には情報共有システムの利用料を見込んでいない。

本システムの利用を希望する受注者は、工事着手までに工事打合せ簿により、監督員にその旨を申し出て、本システムを利用するものとする。

その場合の請負金額の変更については、情報共有システムの利用料を共通仮設費に見込むものとし、本システムの利用を確認した後に変更契約を行うものとする。

② 仮設工事

① 工事現場仮囲い

・ナイロンロープ張り

・木製仮囲い

・鋼製仮囲い

・ガードフェンス

○カラーコーン

2 監督員事務所

・設ける（ m程度）

・設けない

（2.3.1）

3 受注者事務所等 (2.3.1)

・備品等（ ）

・敷地内へ建てることができる

4 工事用水

構内既存の施設

・有償で利用できる（副メーター設置等）

・無償で利用できる

○利用できない

⑤ 工事用電力

構内既存の施設

・有償で利用できる

・無償で利用できる

○利用できない

6 引渡しまでの光熱水費

・本引込みより引渡しまでの基本料金 ※ 受注者負担

・別途

・本引込みより引渡しまでの使用料金 ※ 受注者負担

・別途

7 安全対策

○工事期間中は第三者等の安全確保に細心の注意を払い、必要な対策を講じる。

8 足場その他 (2.2.4)

※「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

9 現況確認

○工事の着手に先立ち、関係者立会いのうえ図面に基づいて敷地や周辺の状況及び高低差などを確認する。

3 土工事

1 増戻し及び盛土 (3.2.3)

種別

・A種

※B種

・C種

・D種

（表3.2.1）

2 建設発生土の処理 (3.2.5)

※ 構外搬出適切な処理（再資源化処理施設へ搬入する）

・構内指示の場所に敷きならし

（3.2.5）

・構内指示の場所に堆積

・構外指示の場所に処分

処分先

※ 搬出先は、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量伝票等（原本）を監督員に提出する。

4 地業工事

5 鉄防工事

6 漏水試験

特記仕様書（構造関係）による

特記仕様書（構造関係）による

章 項

特記事項

6 コンクリート工事

7 鉄骨工事

8 1 コンクリートブロック (8.2.2) (8.3.2) (8.3.2～3)

ブロックの種類及び厚さ ※ 空洞ブロック16

・空洞ブロック16-W

・空洞ブロック08

種類・厚さ	適用箇所

各部の配筋 ※ 図示による

（8.3.3）

2 ALCパネル (8.4.2～7)

ALCパネルの種類等 (8.4.2～7) (表8.4.2～4)

種類	厚さ(mm)	単位荷重(N/㎡)	耐火性能	工法種別		
・外壁用				・A種	・B種	
・間仕切用				・C種	・D種	・E種
・屋根用			30分		・F種	
・床用					・F種	

外壁パネル工法における耐風圧性能及び耐震性能 ※ 図示による

伸縮目地への耐火目地材の充填

・適用する

・適用しない

3 押出成形セメント板 (8.5.2～5) (表8.5.1～2)

押出成形セメント板の種類等 (8.5.2～5) (表8.5.1～2)

	表面形状	厚さ(mm)	耐火性能	取付工法の種別	
・外壁	※フラットパネル			・A種	・B種
	・デザインパネル(図示)				
・間仕切壁	※フラットパネル			・B種	・C種
	・デザインパネル(図示)				

外壁パネル工法における耐風圧性能及び耐震性能 ※ 図示による

製造所

9 1 アスファルト防水 (9.2.2) (表9.2.1～表9.2.10)

種別	施工場所

・屋根保護防水層（断熱工法）の断熱材（オゾン層を破壊する物質を使用しないもの材質及び種類 ※ 押出法スリットフォーム断熱材3種bA（スチ層付き）(JIS A 9521（建築用断熱材））厚さ mm

・屋根露出防水層（断熱工法）の断熱材（オゾン層を破壊する物質を使用しないもの）材質 ※ 発泡アスチン断熱材（JIS A 9521）種類

・厚さ mm

防水立上り部の保護

種類

※ 乾式保護材

製造所

評価名簿による

屋根露出防水絶縁工法の脱気装置

・設けない

※ 設ける

種類

・平場部脱気型

・立上り部脱気型

設置数

箇所

2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2～3) (表9.3.1～3)

種別	施工場所

3 合成高分子ルーフィングシート防水 (9.4.2～4) (表9.4.1～2)

種別	厚さ	仕上り塗料	施工場所

4 塗膜防水 (9.5.2～4) (表9.5.1)

種別	仕上り塗料	施工場所

脱気装置（種別X-1）

種類 ※ 製造所の仕様による

設置数量 ※ 製造所の仕様による

箇所

5 ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1～3) (表9.6.1～2)

種別	施工場所
※ C-UI	
・ C-UP	

※ 屋内については水張り試験を行う。

6 漏水試験

※ 屋内については水張り試験を行う。

記号・略号

(一 般)

BM……ベンチマーク

GL……基準地盤面

FL……基準床面

W……内法巾

H……内法高

UP……上がる

DN……下がる

PS……パイプスペース

DS……ダクトスペース

EV……エレベータ

(構造材料)

SRC……鉄骨鉄筋コンクリート

RC……鉄筋コンクリート

PC……プレキャストコンクリート

ALC……軽量気泡コンクリート

CB……コンクリートブロック

S……鉄（鋼）

W……木

LGS……軽量鋼

福山市建設局建築部営繕課

設計

2025年 11月

福山市走島診療所待合室床改修工事

改修工事特記仕様書№1

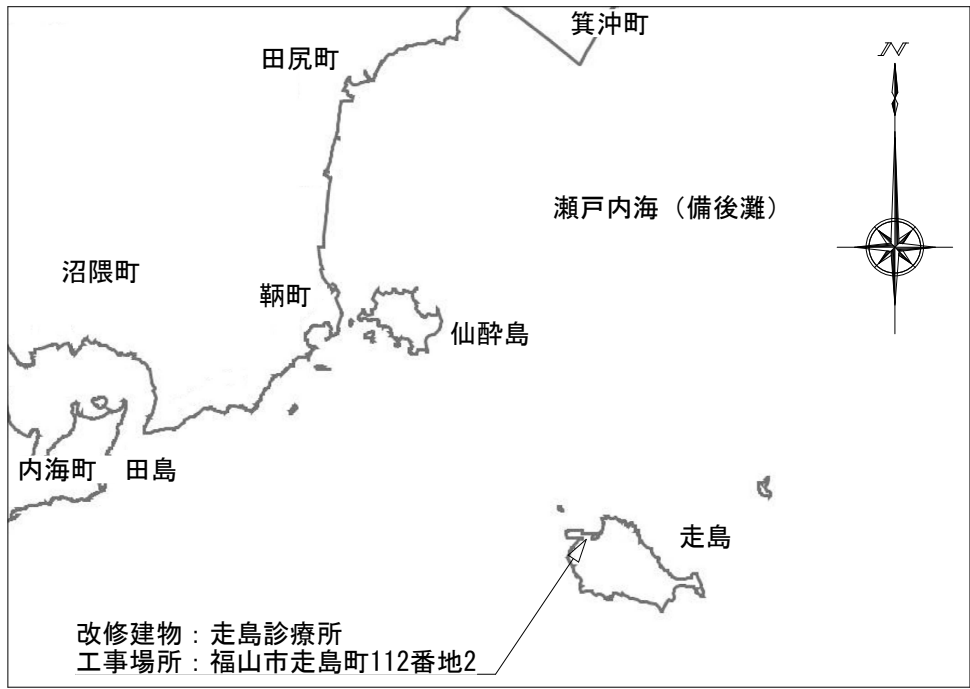
図面No

A-01

[illegible]

A-03

[illegible]

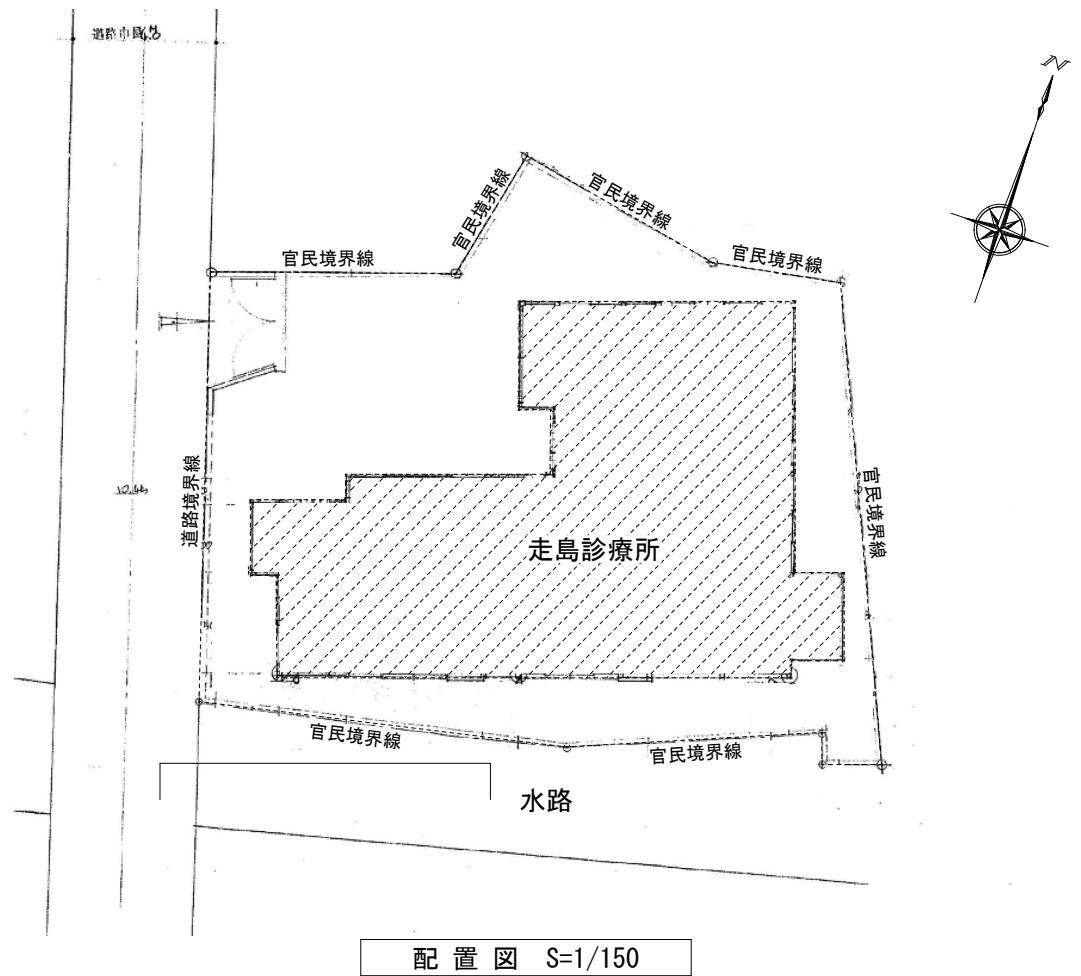


敷地案内図① S=NonScale



敷地案内図② S=NonScale

建物概要	
建物名	走島診療所
棟名	診療所
建築年度	1971年 (S46)
構造	木造
階数	2階建
延べ面積 (㎡)	221.17㎡
増築年度	—
備考	



配置図 S=1/150

【凡例】
改修建物

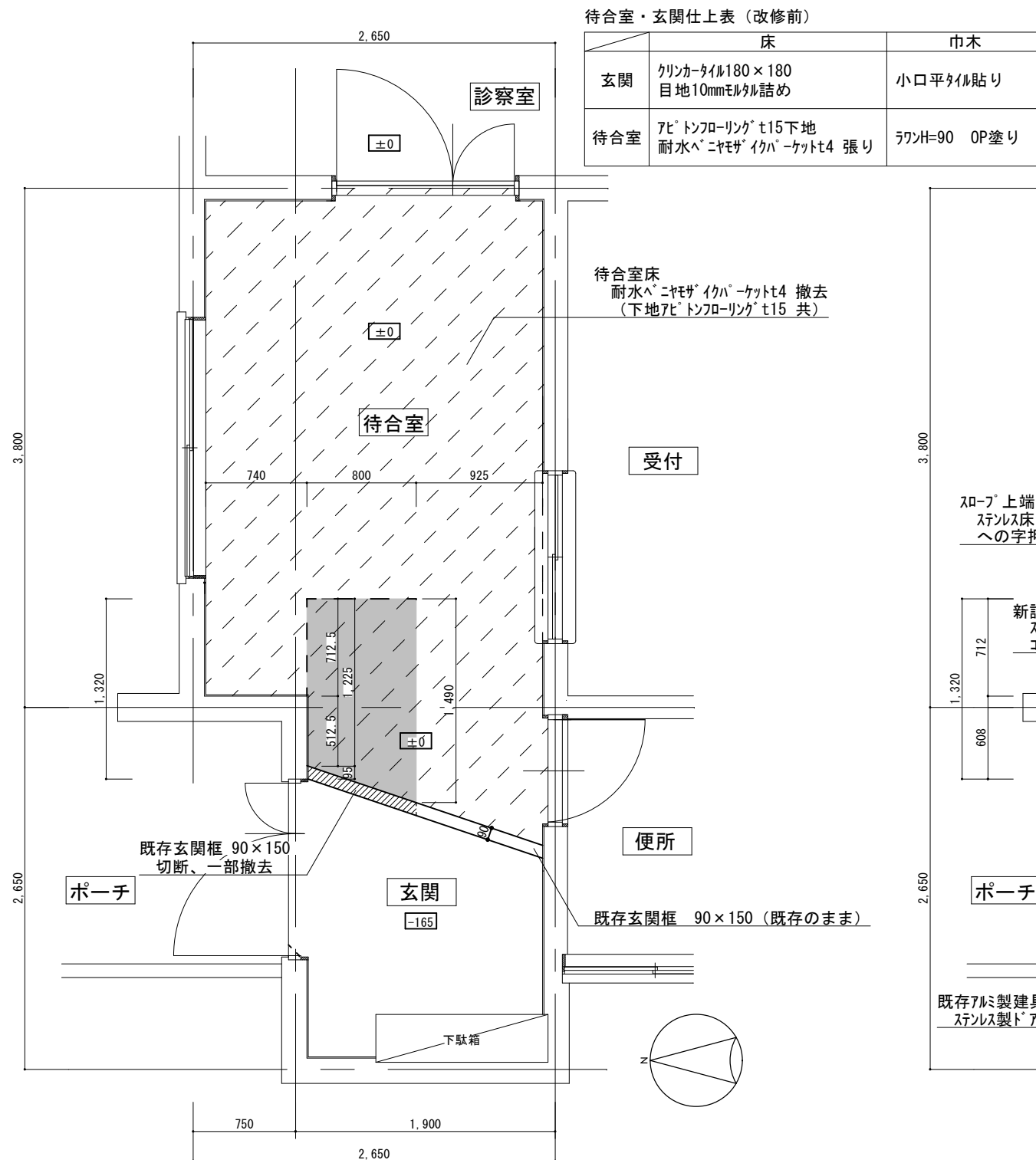
A3判縮小：71%



工事名称
福山市走島診療所待合室床改修工事
図面名称
敷地案内図①、敷地案内図②、配置図

縮尺
図示

図面No
A-05

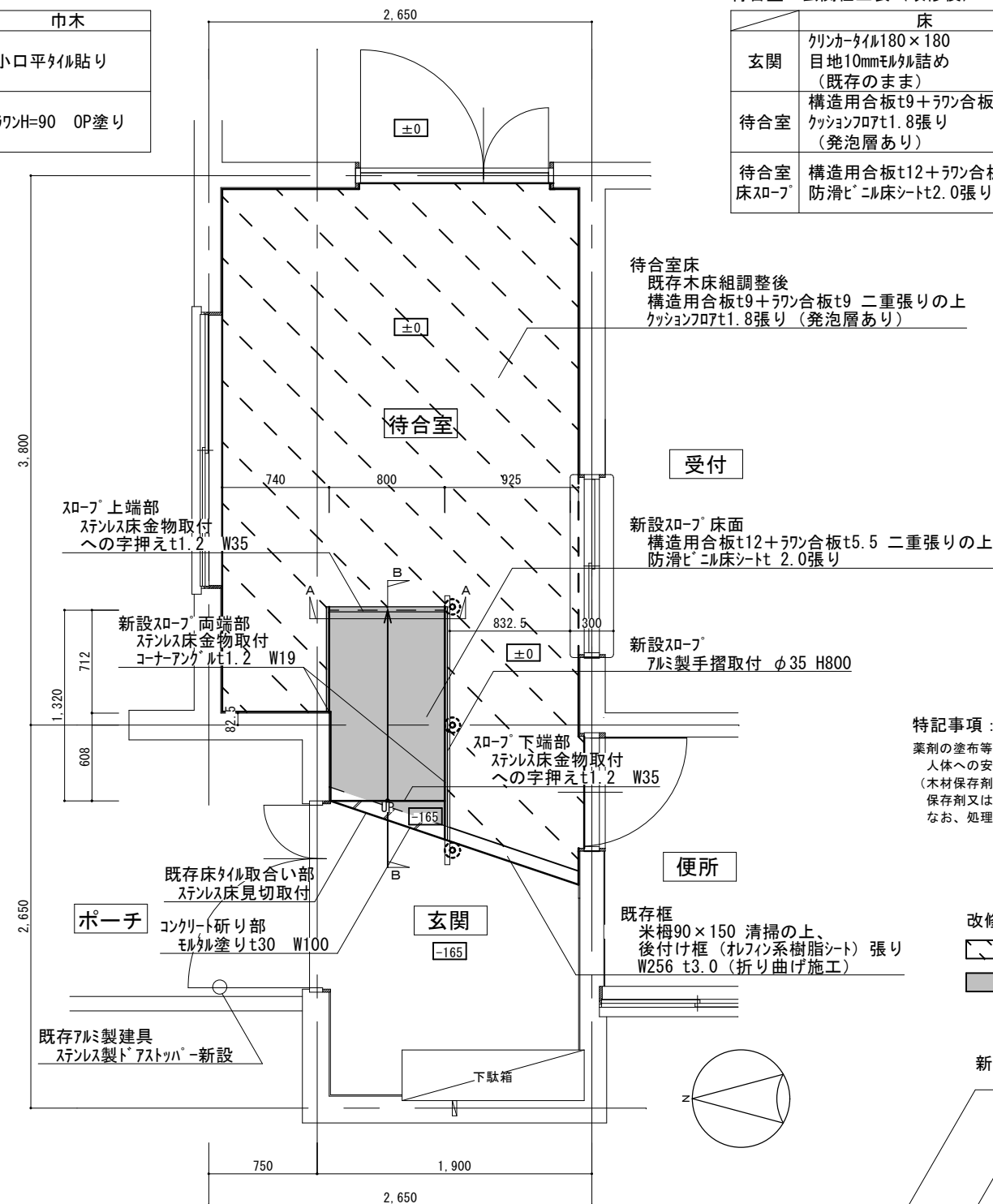


改修前待合室平面図 S=1:30

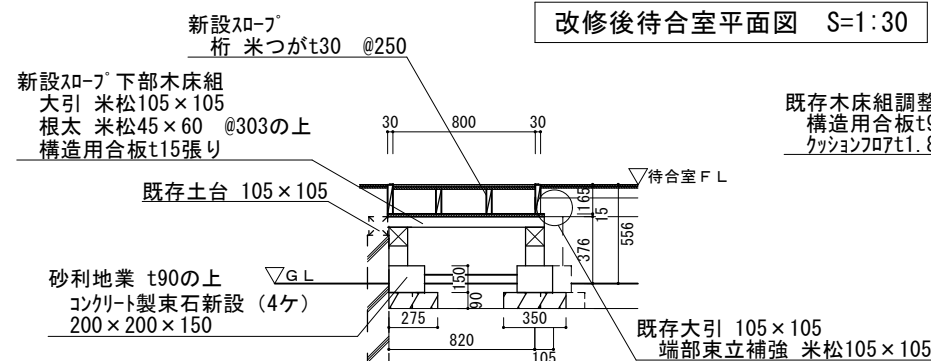
改修前 凡例

 既存床材（下地張り共）撤去範囲

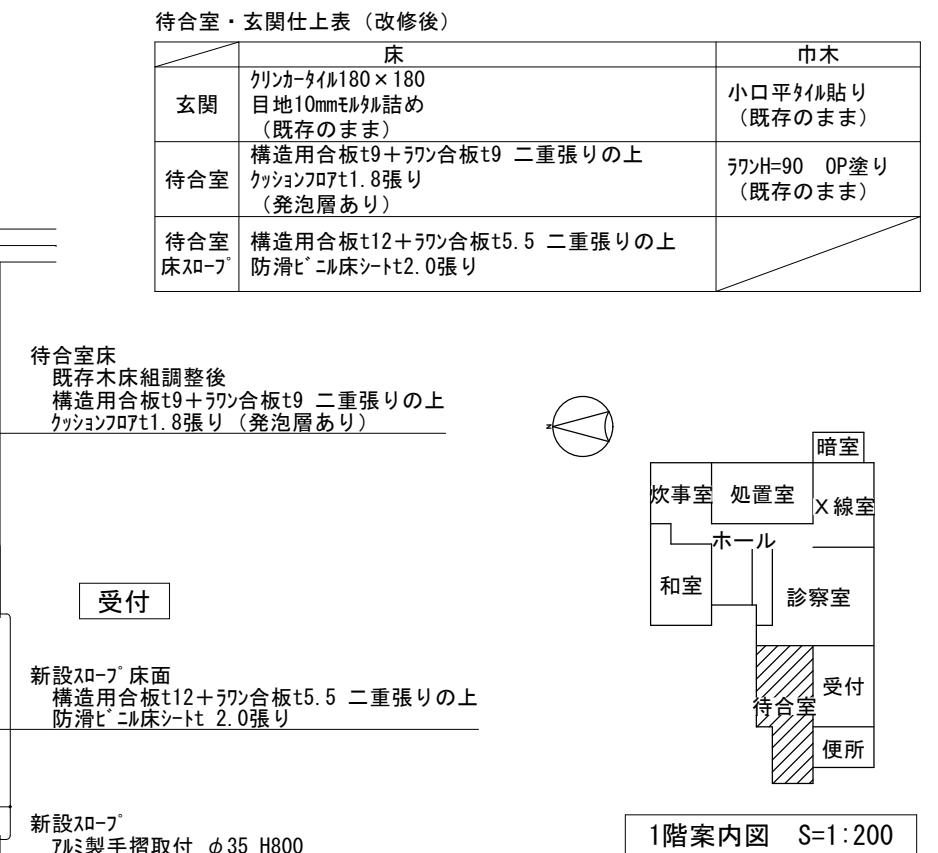
既存木床組撤去範囲（東石含む）



改修後待合室平面図 S=1:30



新設スロープ A 部断面図 S=1:30



1階案内図 S=1:200

特記事項：木材への防腐・防蟻剤塗布

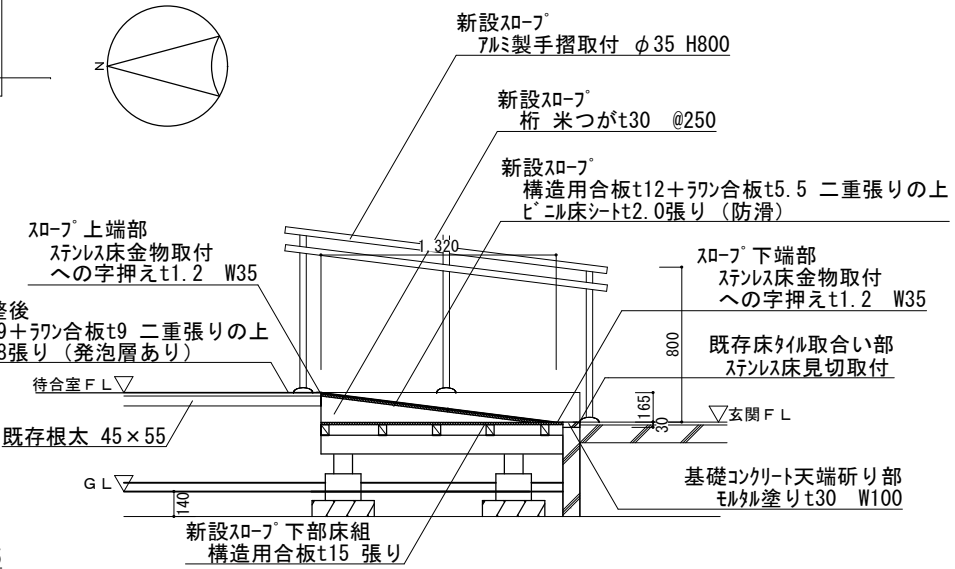
薬剤の塗布等は、次による。

人体への安全性及び環境への影響について配慮され、かつ、JIS K 1571 (木材保存剤一性能基準及びその試験方法) に適合する表面処理用木材保存剤又はこれと同等の性能を有する木材保存剤による処理を行うこと。
なお、処理に使用した薬剤、使用量等の記録を監督職員に提出すること。

改修後 凡例

 既存木床組調整後、床材改修範囲

スロープ下木床組改修範囲（東石含む）



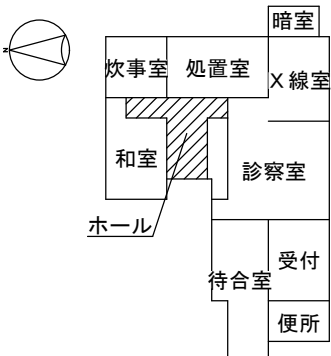
新設スロープ B 部断面図 S=1:30

玄関ホール・炊事室仕上表（改修前）

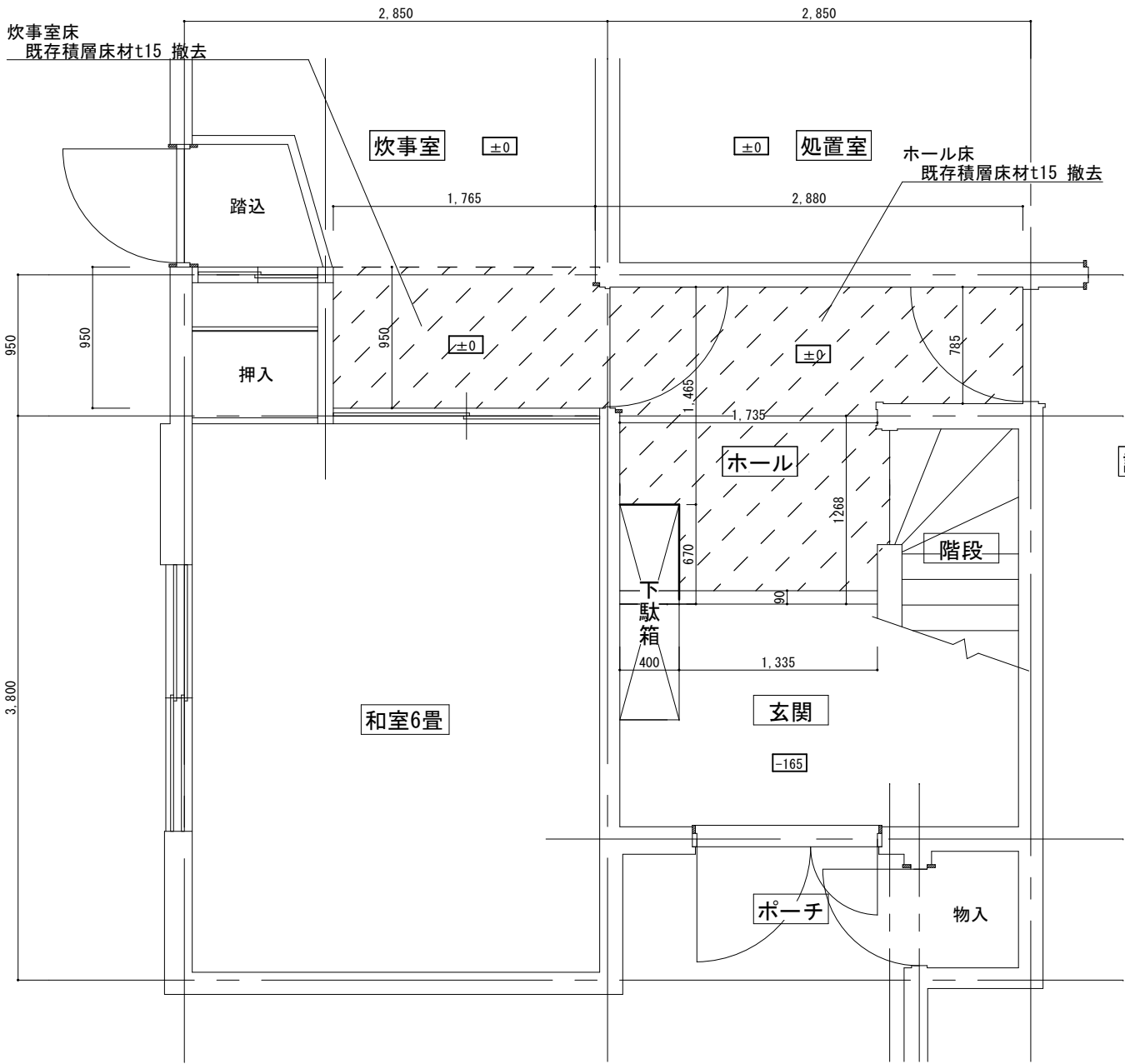
	床	巾木
ホール	積層床材 t15張り 框 米桐90×105	ワッH=90 OP塗り
炊事室	積層床材t15 張り	ワッH=90 OP塗り

玄関ホール・炊事室仕上表（改修後）

	床	巾木
ホール	構造用合板t15 下張りの上 クッションフロアt1.8張り （発泡層あり）	ワッH=90 OP塗り （既存のまま）
炊事室（一部）	ワッ合板t15 下張りの上、クッションフロアt1.8張り （発泡層あり）	ワッH=90 OP塗り （既存のまま）

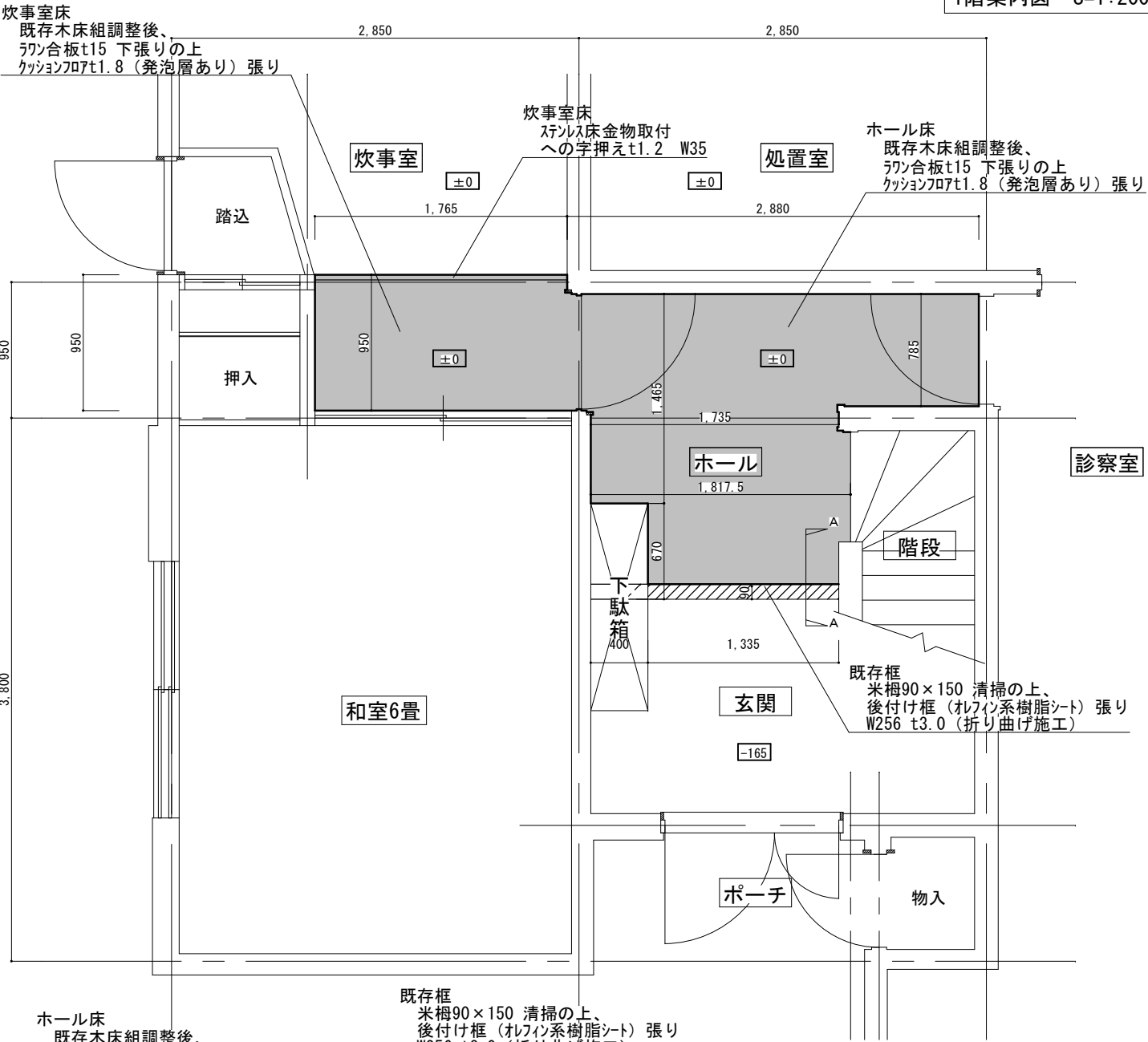


1階案内図 S=1:200



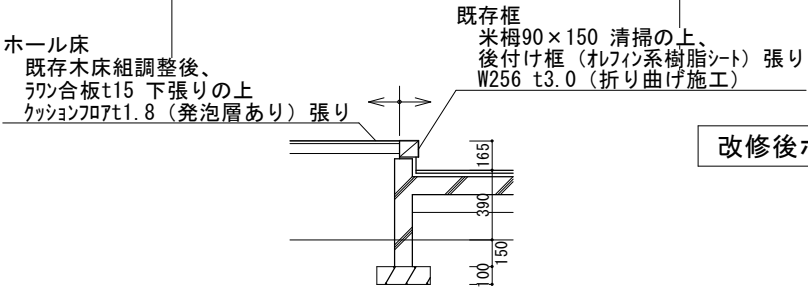
改修前ホール平面図 S=1:30

既存床材（木床組除く）撤去範囲

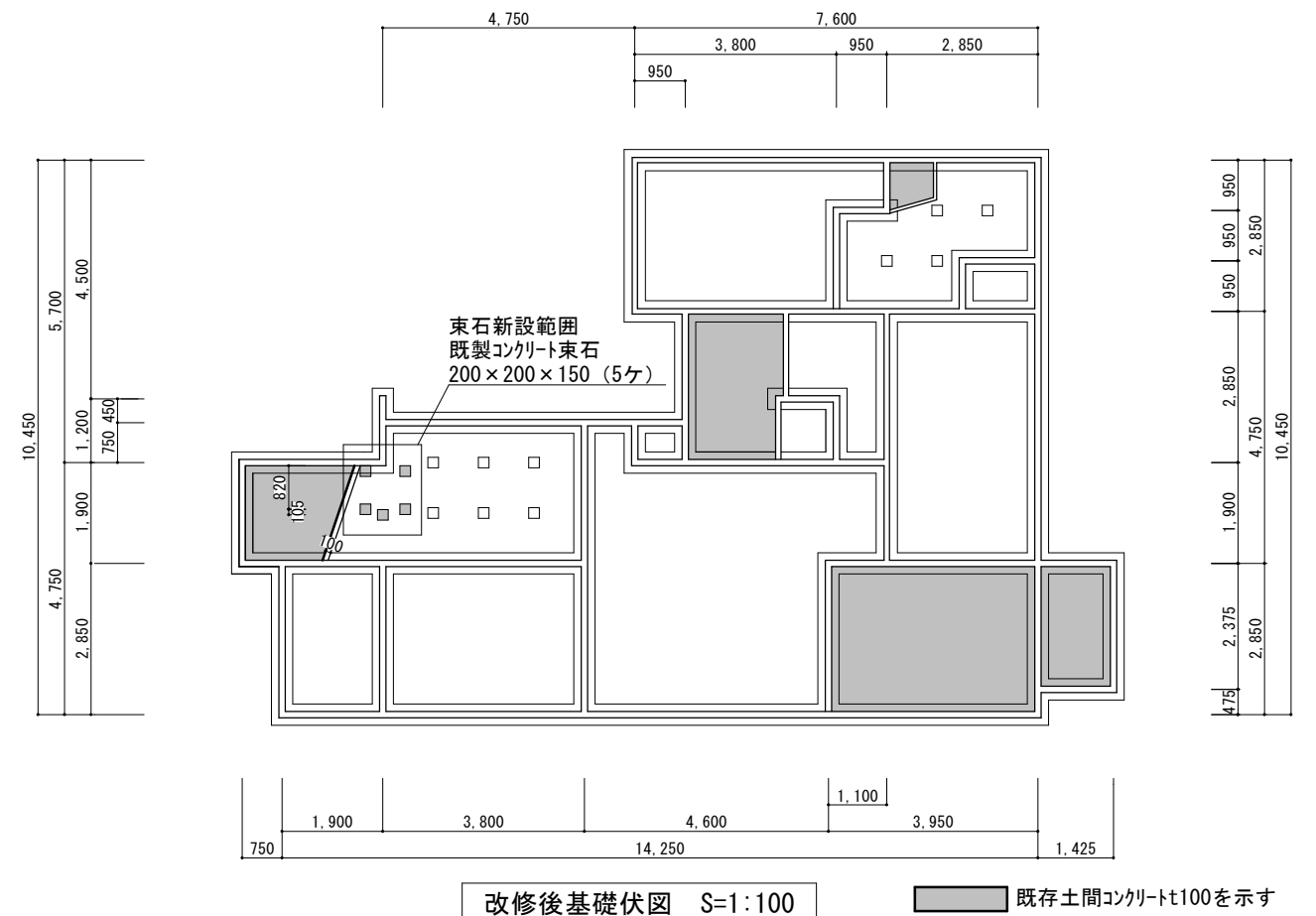
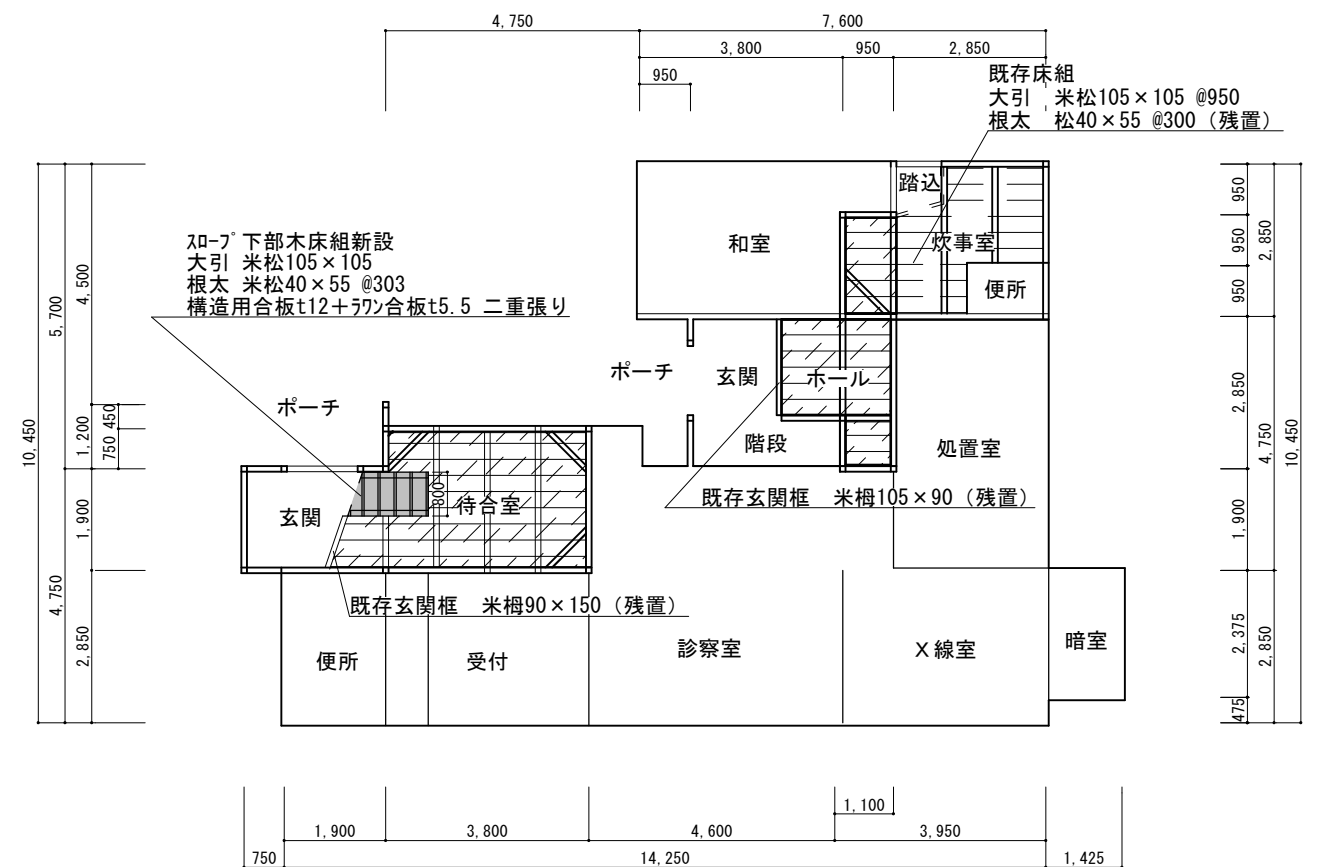
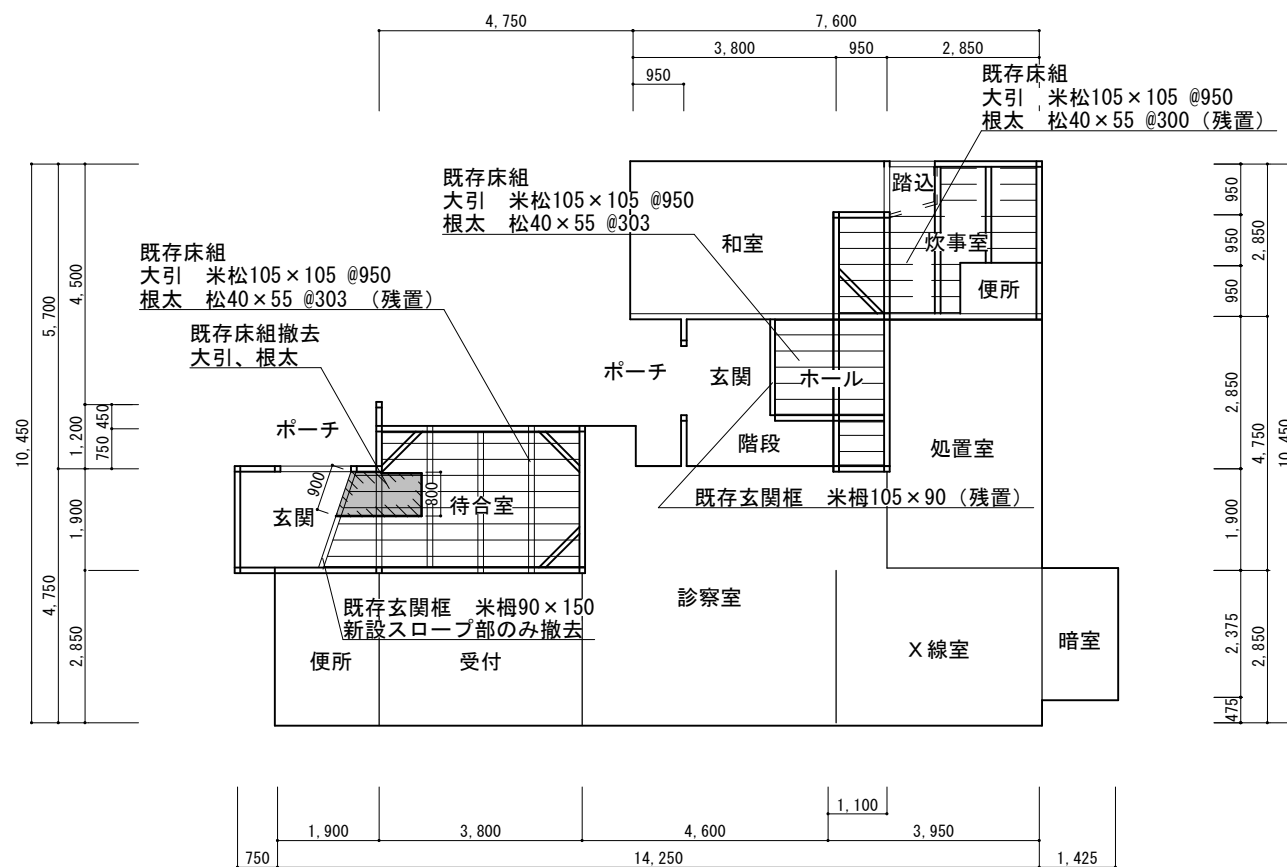


改修後ホール平面図 S=1:30

既存床組調整後、床材改修範囲



ホール玄関 A部詳細図 S=1:30



参考数量書

§ 工事名称 福山市走島診療所待合室床改修工事

§ 工事場所 福山市走島町112番地2

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市走島診療所待合室床改修工事

工事場所 福山市走島町 1 1 2 番地 2

【工事概要】

- ・待合室床改修工事 一式
- ・ホール床改修工事 一式

【別途工事】

- ・なし

名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

[illegible]

待合室					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
とりこわし		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
木		1	式		
計					
金属		1	式		
計					
左官		1	式		
計					
内装		1	式		
計					

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

